

「Q1.0」住宅(キューワン住宅) 断熱効果で 燃費半分 に！

「Q1.0」住宅 は、在来工法での熱量損失をはるかに抑える断熱工法を採用した省エネ住宅です。

冬季に外気温が下がると住宅の内気温も低下しますが、壁厚を 150 ミリから 200 ミリ以上にさせることで、窓や換気による熱量の損失が抑えられ、断熱効果がさらに高められます。このことは、自然エネルギーの効率的な活用と、石油エネルギー消費の減少につながり、地球温暖化の要因となる CO² 削減にも貢献することとなります。

※ Q は熱損失量を算出するときの総熱損失係数です。

熱損失量は、その地域、建物の大小、窓などの開口部面積比や室内設定温度などで異なります。

その建物での総熱損失係数が Q=1.0(キューワン)であるならば、その地域に合わせた冬季の熱損失量を、最小限に抑えることの出来る建物だと言えます。

(例) 60 坪の木造住宅と比較すると、「Q1.0」住宅 は、一年間で灯油(18ℓ缶)約 63.6 本 (1,145ℓ) 分の節約が可能です。

※ 引用：(社)新住協【一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会】HPより

2018/02 には新住協岩手支部で、他に先駆けて「断熱体験会」を開催しました。



2018.2.24sat_25sun
OPEN 13:00 - CLOSE 16:00
◎ 北上市 / 滝沢市 / 花巻市 / 盛岡市

新住協岩手支部
オープンハウス

断熱体験会

冬の岩手でもあたたかい
200ミリ断熱の住宅を
各会場で体験して下さい

夏は涼しく、冬は暖かい
「Q1.0」住宅

(社)新住協推奨の「Q1.0」住宅は、2020年義務化が予定されている新築木造住宅施工基準での断熱基準をはるかに超える高機能住宅で、黒田工務店が大船渡市で初めての取り組みです。